

平成 22 年 1 月 14 日

上場会社名 株式会社 三菱 UFJ フィナンシャル・グループ
代表者 取締役社長 畔柳 信雄
(コード番号 8306)

平成 22 年 3 月期第 3 四半期の有価証券評価損に関するお知らせ

株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループ（取締役社長 くろやなぎ のぶお 畔柳 信雄）の子会社である株式会社三菱東京 UFJ 銀行において、平成 22 年 3 月期第 3 四半期に、市場価格のある国内株式のうち時価が著しく下落しているものについて、減損処理による有価証券評価損を計上する見込みとなりましたのでお知らせいたします。

三菱東京 UFJ 銀行における平成 22 年 3 月期第 3 四半期の市場価格 (A) のある国内株式の減損処理額 (第 3 四半期累計と第 2 四半期累計との差額)	260 億円
(B) 平成 21 年 3 月期の連結純資産の額 (A/B×100)	85,706 億円 (0.3%)
(C) 平成 21 年 3 月期の連結経常利益の額 (A/C×100)	828 億円 (31.4%)
最近 5 事業年度の連結当期純利益の平均 (A/D×100) (D) (平成 21 年 3 月期の連結当期純利益が赤字のため、最近 5 事業年度の平均を記載。なお、赤字の事業年度については 0 として計算。)	5,253 億円 (4.9%)

また、当社の子会社である三菱 UFJ 信託銀行株式会社における、平成 22 年 3 月期第 3 四半期の市場価格のある国内株式の減損処理額は、70 億円となる見込みです。

なお、四半期会計期間末における市場価格のある国内株式の減損処理にあたっては四半期洗替え法を採用しており、平成 22 年 3 月期においては、その期末日の時価等により損失の計上額が変動する場合があります。

上記以外の決算の状況につきましては現在集計中であり、平成 22 年 3 月期第 3 四半期決算発表時にお知らせいたします。

以 上

本資料には、当社または当社グループの業績、財政状態その他経営全般に関する予想、見通し、目標、計画等の将来に関する記述が含まれています。かかる記述は、現時点における予測、認識、評価等を基礎として記載されています。また、将来の予想、見通し、目標、計画等を策定するためには、一定の前提（仮定）を使用しています。これらの記述ないし前提（仮定）は、その性質上、将来その通りに実現するという保証はなく、客観的には不正確であったり、実際の結果と大きく乖離する可能性があります。そのような事態の原因となりうる不確実性やリスクの要因は多数あります。その内、現時点において想定しうる主な事項については、決算短信、有価証券報告書、ディスクロージャー誌、Annual Report をはじめとした当社の公表済みの各種資料の最新のものをご参照ください。